

令和8年度 業務計画書

[札幌市こどもの劇場]

1. 運営基本方針 【第5期指定管理】

『豊かな子ども文化に彩られた未来創造のまち・さっぽろ』

札幌市こども人形劇場は、「人形劇、児童劇等の制作及び発表と制作団体の育成を通じて、青少年の情操のかん養を図り、もってその健全な育成その他の活動に資すること」【札幌市こども劇場条例】を目的として設置された施設である。

全国的にも数少ない子どものための専門劇場として、「子ども文化」を育むことで生み出される人と人のつながりにより、こころ豊かな未来を描くことができる、地域の文化拠点を目指す。

2. 事業方針

子どものための専門劇場として、未来を担う子どもたちが文化芸術にふれることで情操豊かに育つことに加え、それを支える市民劇団を育成する中で醸成される地域コミュニティ創造を目指す事業を積極的に展開する。

市民の興味関心を引き出して誰もが創造者となり得る環境をつくり、劇場がハブとなって人材価値を高め、新たな可能性を生み出していく。また、これまで続けてきた人材育成や共生社会構築に向けた事業展開、アウトリーチ事業などの成果を広く発信することに注力し新たな協働や連携により事業の幅を拡げていく。

併せて、こぐま座が立地する中島公園の再整備を機会ととらえ、その情報収集や動向を注視しながら、中島児童会館や中島公園、地域団体と連携した実績を重ねていく。

3. 重点事業

①こぐま座50周年記念事業

- ・ World Children's Puppet Camp in Sapporo (人形劇キャンプ)
- ・ 韓国 Art Stage SUN 招へい公演 (北海道ツアー)

②障がい児との文化芸術推進事業

4. 数値目標

【共通】

- ①利用者総数 95,000人
※令和7年度 93,000人 (見込)
- ②事業プログラム参加者総数 33,000人
※令和7年度 33,000人 (見込)
- ③利用者アンケートにおける満足度98.0%
※令和7年度 98.8% (見込)

【部門】

- ①新規人形劇団の誕生及び育成 3劇団
※令和7年度 7劇団
- ②年間上演日数及び公演数 上演日数240日 公演数400回
※令和7年度 上演日数267日 公演数413回 (見込)

5. 事業実施計画書

(地域活動等事業)

(1) 子ども文化の創造と発信による新たな可能性

No	事業名	目的・内容・対象・人数等	時期・回数
1	広域文化支援ネットワーク形成事業 【共通】	【目的】 (一社) アートブリッジコミュニティ、劇団、他団体との協働により、社会のニーズに応じたさまざまな事業を企画立案し、実施に向けて広域に支援するネットワークを拡大し、劇場事業の持続的成長につなげることを目的とする。 【内容】 ・北海道内外での人形劇等に関する相談業務、講師派遣 ・舞台照明・音響、人形劇等の制作、人形劇の人材育成指導者の育成 ・舞台体験プログラムの企画・実施（人形劇、人形浄瑠璃等） ・あそびを通じた交流広場の企画・実施 ・災害時等における被災地支援、チャリティー公演等の企画・実施 【対象】 設定内容による 【人数】 設定内容による	【R7年度実績予測】
			4月～3月 10件
			【R8年度】
			4月～3月 10件
2	物品販売事業 【共通】	【目的】 公演時に販売を行うことで、公演の集客、活性化を図る。 【内容】 ①手作り製品（ハンドパペット等）やオリジナル商品の販売（やまびこ座・こぐま座）②自動販売機の設置及び飲料販売（やまびこ座） 【対象】 幼児～一般	【R7年度実績予測】
			4月～3月
			【R8年度】
			4月～3月
3	活動協会連携事業 【共通】	【目的】 こども若者事業部内および活動協会内で連携することにより、各課の強みや資源を有効活用し、人材育成等より効果的な取り組みを進める。 【内容】 部内連携および他課連携事業 【対象】 幼児～一般	【R7年度実績予測】
			通年 3回
			【R8年度】
			通年 3回

(施設運営等事業)

(2) 児童文化の普及及び子どもの健全育成のための公演・展示会・講座等の開催に関する業務

ア 公演事業

No	事業名	目的・内容・対象・人数等	時期・回数
1	子どものための人形劇・児童劇公演 【共通】	【目的】 より質の高い人形劇や児童劇の作品を市民に提供する。 【内容】 札幌市内のアマチュア劇団、北海道内外の専門劇団等による人形劇及び児童劇等の公演を行う。 【対象】 幼児～一般 【人数】 設定内容による	【R7年度実績予測】
			通年 やまびこ座 212st こぐま座 201st
			【R8年度】
			通年 やまびこ座 200st こぐま座 200st

2	こぐま座50周年記念事業 World Children's Puppet Camp in Sapporo (人形劇キャンプ) 【新規】 【共通】	【目的】子どもたちの健やかな成長と平和的な国際交流を実現するため、共同制作を行う。こぐま座の存在価値を広く伝える機会とし未来における人形劇文化の発展を目指す。 【内容】世界7カ国の子どもたちと、相互理解や文化的多様性をテーマとした作品を創造し世界に発信する。 ①人形劇キャンプ ②グローバルパペットフォーラム ③共同制作作品野外公演(発表会) 【対象】各国のこども／こぐま座・やまびこ座で活動を行う劇団、こども／児童会館人形劇クラブ 他 【人数】キャンプ参加者：70名／観劇者600名	【R7年度実績予測】
			【R8年度】 7月 ①1回(3日) ②1回 ③2回
3	こぐま座50周年記念事業 韓国 Art Stage SUN 招へい公演 (北海道ツアー) 【新規】 【共通】	【目的】海外の良質な人形劇作品を招へいし、子どもから大人まで豊かな観劇機会を提供する。 【内容】やまびこ座・こぐま座芸術監督推薦作品として、韓国の劇団「Art Stage SAN」の代表作「ダルレの物語」を道内3カ所で上演。①人形劇上演 ②ワークショップ 【対象】小学生～大人 【人数】600名(砂川1st／中札内2st／札幌3st)	【R7年度実績予測】
			【R8年度】 9月 ①道内3ヶ所 6公演 ②1回
4	こぐま座50周年記念事業 世界こども人形劇フェスティバル(記念公演) 【新規】 【共通】	【目的】半世紀を迎えるこぐま座の存在価値を市民の方々に知ってもらふ機会として、2026年4月から8カ月間にわたり記念フェスティバルを開催する。 【内容】①こぐま座50周年企画公演②こぐま座&日本ウニマ企画③世界こども人形劇フェスティバル④(夏の特別公演・企画公演・秋の特別公演)⑤体験ワークショップ 【対象】幼児～一般 【人数】観劇者3,800名	【R7年度実績予測】
			【R8年度】 4月～11月 ①2st②2st ③4st④37st ⑤2回
5	やまびこ座プロデュース人形劇 【新規】 【共通】	【目的】北海道出身の世界的舞台芸術家と、札幌のアーティストの共演により、地域人材・表現者の育成につなげる。北海道に実在した「オホーツク文化」をモチーフに、北海道の歴史や文化への興味を引き出す。 【内容】①「OKHOTSK-終わりの楽園」②「沢則行ソロパフォーマンス公演 コウスキイ2026夏」 【対象】幼児～一般 【人数】観劇者1,300名	【R7年度実績予測】
			【R8年度】 ①8月・5st ②8月・3st
6	第55回札幌人形劇祭 【共通】	【目的】人形劇のコンクール形式の連続公演を実施し、人形劇作品の質的向上・劇団活動のレベルアップ・公演活動の活性化につなげる。 【内容】①本祭：人形劇の連続公演(審査)のほか、経験者を対象とするワークショップ等を実施する。②受賞記念公演：各部門の最優秀賞・優秀賞受賞作品の公演を行う。 【対象】市内・道内で活動している人形劇団 【人数】大人部門、こども部門 各10劇団程度 観劇者500名	【R7年度実績予測】
			①11月・5st ②1月・1st 【R8年度】 ①11月・5st ②1月・1st

イ 講座事業

No	事業名	目的・内容・対象・人数等	時期・回数
1	初心者のための人形劇講座 【共通】	【目的】 札幌の人形劇の新しい担い手の育成を目的とし、劇場公演の活性化につなげる。 【内容】 脚本・人形制作等の人形劇制作を学ぶ講座としてやまびこ座とこぐま座で時間帯を分けて開講する。最終回には合同で修了記念公演を実施する。 【対象】 18歳以上 【人数】 各10名	【R7年度実績予測】
			4月～7月 15回
			【R8年度】
			6月～9月 15回
2	経験者のための人形劇講座 【こぐま座】	【目的】 やまびこ座・こぐま座で活動をする人形劇団が抱えている問題点、特に作品を創っていく上での質的、技術的な問題などを本講座で改善していけるよう支援を行う。新作の制作、旧作のリニューアルを実施し、劇団のレベルアップ、自主公演等の活動の活性化を図る。 【内容】 劇団ごとに目標を設定し、講師から指導・アドバイスを受けながら新作の製作、旧作のリニューアルなど人形劇創作を行う。完成した作品はやまびこ座・こぐま座で上演を行う。 【対象】 主にやまびこ座・こぐま座を拠点に活動を行う人形劇団 【人数】 4～6劇団	【R7年度実績予測】
			6月～10月 16回
			【R8年度】
			6月～10月 16回
3	パペットカレッジ 【こぐま座】	【目的】 若い世代の人形劇団を対象とし、継続した創作活動ができるよう支援する。人形劇の質的向上、次世代の担い手を育成する。 【内容】 人形劇の基本を学び、脚本から製作、上演までの人形劇の作品創りを行う。 【対象】 パペットユーススクールの卒業生を主とした若手人形劇団 【人数】 4劇団程度	【R7年度実績予測】
			6月～10月 16回
			【R8年度】
			6月～12月 20回
4	人形浄瑠璃講習会・義太夫講習会 【やまびこ座】	【目的】 北海道ではなじみの少ない古典芸能に親しむ機会を市民に提供すると共に、札幌の文化を担う人材を育成する。 【内容】 やまびこ座所蔵の浄瑠璃人形を用いて三人遣いの人形操作方法や人形浄瑠璃に欠かせない唄と三味線を学ぶ。①人形浄瑠璃講習会②義太夫講習会③レベルアップ講座 【対象】 18歳以上（高校生不可） 【人数】 ①②15名 ③「三人遣い」「義太夫」の経験年数4年以上10名	【R7年度実績予測】
			①5月～12月・18回 ②5月～12月・14回
			【R8年度】
			①5月～12月・18回 ②5月～12月・14回 ③10月・6回
5	表現者のためのスキルアップワークショップ 【共通】	【目的】 こどものための良質な作品創造を目指すため、個々の表現者が自身の経験度合いとニーズによって選択できるスキルアップの機会を提供する。また、次世代の指導者となり得る人材を発掘し、札幌の舞台芸術に係る文化の継承と資質の向上を図る。 【内容】 人形劇等の専門家を講師とし、人形美術、脚本、演出、操作、人形の構造等に関するワークショップを実施する。 【対象】 人形劇経験者（経験は問わず） 【人数】 設定内容による	【R7年度実績予測】
			4月～10月 5プログラム
			【R8年度】
			5月～10月 5プログラム

ウ 子どもの舞台表現活動の推進

No	事業名	目的・内容・対象・人数等	時期・回数
1	こぐま座 こども人形劇団 【こぐま座】	【目的】 異年齢集団による人形劇創作を通して、創ることの楽しさを体験するとともに、想像力や表現の可能性を広げることを目的とする。 【内容】 グループ活動を通して、人形劇の製作から上演までの創作活動に取り組み、協働する力や表現力を育むとともに、創作の楽しさや演じる喜びを体験できるプログラムとする。成果発表として人形劇の公演を行う。 【対象】 小学3～6年生 【人数】 15名	【R7年度実績予測】
			6月～3月 46回
			【R8年度】
			6月～3月 46回
2	パペットユース スクール 【こぐま座】	【目的】 人形劇制作を通して子どもたちの可能性を高め、創造性や自主性を養う。子どもたちが継続した活動を行えるよう支援し、将来の人形劇文化の担い手を育成する。 【内容】 グループを形成して表現活動を通じた仲間づくりと人形劇制作に必要な技術等を学ぶ。 【対象】 中・高校生 【人数】 15名	【R7年度実績予測】
			6月～3月 28回
			【R8年度】
			6月～3月 28回
3	やまびこ座 遊劇舎 【やまびこ座】	【目的】 劇遊びおよび劇作りを通じて、表現活動の楽しさを体験し、参加者の豊かな情操を育むことを目的とする。 【内容】 グループ活動を通じて、台本作りから上演までの創作過程を体験し、創作の楽しさや演じる喜びを感じるプログラムを実施する。最終回には、成果発表として公演を行う。 【対象】 小学3～6年生 【人数】 20名	【R7年度実績予測】
			6月～1月 30回
			【R8年度】
			6月～12月 25回
4	劇☆やまびこ 座YOUTH 【やまびこ座】	【目的】 表現活動を行う同世代の中学生・高校生との交流を通して、集団で表現することの楽しさや難しさを体験し、豊かな情操を育む。 【内容】 演劇に関するワークショップやグループワークを行い、参加者同士が自由にアイデアを出し合いながら、創造的に作品づくりに取り組む。 【対象】 中・高校生 【人数】 20名	【R7年度実績予測】
			6月～1月 34回
			【R8年度】
			6月～12月 25回
5	ぎ・にんぎょう じょうり ユースクラス 【やまびこ座】	【目的】 子どもたちの可能性を引き出す場とし、古典芸能の面白さを若い世代に伝え、将来の札幌の文化を担う人材を育成する。 【内容】 やまびこ座所蔵の浄瑠璃人形を用いて三人遣いの人形操作方法や唄と三味線を学ぶ。 【対象】 小学6年生 【人数】 15名	【R7年度実績予測】
			5月～12月 17回
			【R8年度】
			5月～12月 17回
6	児童会館人形 劇クラブ育成事 業 【共通】	【目的】 劇場の専門性を生かし、児童会館の人形劇クラブの指導育成と一緒に取り組むことで、子どもたちの新たな可能性を引き出す。また、子どもたちの芸術鑑賞及び体験機会の拡充を目指す。 【内容】 ①児童会館人形劇クラブ育成指導②世界人形劇の日こども人形劇フェスティバル 【対象】 札幌市児童会館人形劇クラブ 【人数】 6館程度	【R7年度実績予測】
			①5月～3月・各20回 ②3月・2st
			【R8年度】
			①5月～3月・各20回 ②3月・2st
7	こども舞台体験 プログラム ふれアート 【やまびこ座】	【目的】 子どもたちが気軽に文化に触れる機会を提供し、舞台芸術を身近なものとして親しみを持ってもらおう。 【内容】 人形浄瑠璃体験、鳴物体験、舞台裏方体験&ミニ発表会 【対象】 設定内容による	【R7年度実績予測】
			6月～10月・回
			【R8年度】
			5月～11月・回

エ ソーシャルインクルージョン【社会的包摂】の機能を有した文化芸術事業の拡充

No	事業名	目的・内容・対象・人数等	時期・回数
1	障がい児との文化芸術推進事業 文化の扉をひらこう！ 【共通】	【目的】障がいの有無に関わらず、誰もが豊かな体験機会や舞台芸術を享受できる社会を目指す。子どもの生き生きとした活動を通してソーシャルインクルージョンの理解につなげる。 【内容】①まぜこぜフェスティバル2026(インクルーシブ文化祭)②パペットアートヴィレッジ(舞台表現プログラム)③舞台体験ワークショップ 【対象】①幼児～大人(障害の有無・国籍等を問わず)②③小学生～高校生 【人数】①延べ1,300名 ②20名程度③30名程度	【R7年度実績予測】 ①10月・2日間 ②6月～12月・11回 ③6月～12月・3回
			【R8年度】 ①10月・2日間 ②6月～1月・13回 ③6月～1月・3回
2	バリアフリー公演 【共通】	【目的】より多くの市民に実演芸術を楽しんでいただく機会となることを目的として、人形劇、人形浄瑠璃、児童劇に対する観劇サポートを通年で行う。 【内容】①舞台手話付き人形劇公演②舞台手話付き児童劇公演③視覚障害者のための人形劇公演④乳幼児のためのオープン公演 【対象】幼児～一般 観客数 2,000名	【R7年度実績予測】 9月～2月 全4回・11st
			【R8年度】 6月～3月 ①9st②4st③4st④4st
3	共に創り、共に楽しむ 舞台体験事業 【共通】	【目的】人形劇の創作活動をととして、参加者同士が協力しながら共通の目標を目指すことで、他者との交流を深め、のびのびと自己表現できる場とする。 【内容】①支援学級人形劇ワークショップ②学校適応指導教室人形劇ワークショップ 【対象】札幌市内及び近郊の小学校、学校適応教室 【人数】設定内容による	【R7年度実績予測】 6月～12月 ①6回②7回
			【R8年度】 6月～12月 ①②8回程度
4	インクルーシブ人形劇キャラバン隊～北海道巡回公演 【新規】 【共通】	【目的】地域や家庭環境にかかわらず、すべての子どもたちに質の高い芸術体験を提供することを目的として、人形劇、人形浄瑠璃の道内巡回公演、参加型ワークショップを実施する。 【内容】①インクルーシブ巡回公演②人形劇道内巡回公演&ワークショップ③人形浄瑠璃道内巡回公演&ワークショップ 【対象】北海道内(児童相談所、特別支援学校、児童デイサービス等) 【人数】道内5カ所	【R7年度実績予測】
			【R8年度】 6月～12月 5st
5	さっぽろパペットシアタープロジェクト 「北のおばけ箱」道内公演 【新規】 【共通】	【目的】劇場がプロデュースし上演を行ってきた人形劇プログラムを、北海道各地域において上演することで、インクルーシブな舞台芸術による地域交流を道内に広めていく。 【内容】ムーブアラウンド形式の舞台手話通訳を取り入れ、障がいの有無に関わらず共に生き生きと演じる人形劇作品を上演する。 【対象】幼児～大人 【人数】道内2カ所	【R7年度実績予測】
			【R8年度】 10月 2st

オ 地域との共生および関係機関との連携

No	事業名	目的・内容・対象・人数等	時期・回数
1	やまびこ座夏まつり 【やまびこ座】	【目的】やまびこ座を利用する劇団や町内会等地域団体と協働で実行委員会を組織し、地域住民に向けたお祭りを実施して地域交流、地域貢献を図る。 【内容】人形劇・パフォーマーによる連続公演(ホール)、地域協力団体出展ブース、工作コーナー、ゲームコーナー、幼児コーナー他 【対象】幼児～一般 【人数】のべ5,000人	【R7年度実績予測】
			8月 2日間
			【R8年度】
2	アウトリーチ事業 【共通】	【目的】劇場近隣の小学校と連携し、人形劇創作体験を通して子どもたちの想像力やものづくりへの興味を高める。 【内容】①人形劇体験ワークショップ(やまびこ座・こぐま座) 【対象】①元町北小学校3年生(やまびこ座)、資生館小学校4年生(こぐま座) 【人数】設定内容による	【R7年度実績予測】
			5月～10月 各6回
			【R8年度】
3	札幌劇場連絡会 【共通】	【目的】劇場の発展を図り、舞台芸術の振興及び舞台芸術による地域振興に資することを目的とした「札幌劇場連絡会」へ継続して加入する。劇場間のネットワークを拡充し、各団体との協働によって様々な事業を実施する。 【内容】定例会(毎月1回)、「札幌劇場祭Theater Go Round」等の実施 【対象】札幌市内の公設・民設劇場 10劇場	【R7年度実績予測】
			通年 月1回
			【R8年度】
			通年 月1回

カ 展示室の活用、その他

No	事業名	目的・内容・対象・人数等	時期・回数
1	企画展示 【共通】	【目的】展示スペースを活用した企画展示を行うことで、劇場と地域、市民との出会い、交流の場を創出する。 【内容】事業の関係団体、地域の関係機関や企業等と協働で企画展示を行う。 【対象】幼児～一般 【人数】設定内容による	【R7年度実績予測】
			8月～1月 2回
			【R8年度】
2	市民ボランティア事業 【共通】	【目的】事業等へのボランティア協力を依頼することで市民との出会いや交流を促進し、劇場の活動への理解と協力を深める。あわせて地域のボランティア人材発掘を進める。 【内容】①「読み語りの会」(やまびこ座)毎週水曜日に絵本や紙芝居等の読み聞かせを実施する。②「おはなしの会」(こぐま座)年20回、ボランティアによる絵本や紙芝居等の読み聞かせを実施する。③指人形制作(こぐま座)「人形劇スタンプラリー」でプレゼントする指人形を制作する。 【対象】一般 【人数】設定内容による	【R7年度実績予測】
			通年 ①42回 ②21回 ③12回
			【R8年度】
3	人形劇観劇スタンプラリー 【共通】	【目的】両劇場の観劇者の増加、リピーターの確保を目指す。 【内容】両劇場で人形劇公演の観劇時にスタンプを押す。観劇回数に応じて、ボランティアの協力を得て制作した指人形をプレゼントする。 【対象】幼児～一般 【人数】公演来場者数相当	【R7年度実績予測】
			通年 6,000枚
			【R8年度】
			通年 7,500枚

キ 中島児童会館との一体運営の中で生まれる施設づくり

No	事業名	目的・内容・対象・人数等	時期・回数
1	かもくま祭×あそびのフェスティバル 【こぐま座】	【目的】こぐま座50周年を祝い、中島児童会館と協働で地域団体等と連携を図りながら歴史的・文化的価値と両施設が併設されていることの意義についてPRを図る。 【内容】屋外ステージでの人形劇・パフォーマー・専門アーティストによる連続公演、昔あそび体験、ゲーム、工作、地域団体等による出店等を実施する。 【対象】幼児～一般 【人数】1,500名	【R7年度実績予測】
			7月 2日間
			【R8年度】
2	中島児童会館・こぐま座資料室「MA・SO・BO」 【こぐま座】	【目的】歴史的価値の高い中島児童会館とこぐま座が連携し、子どもの健全育成を図る中心拠点としてこども文化の重要性を発信する。 【内容】①資料室MA・SO・BOの企画・運営②企画展示(657美術館)、ワークショップ等の実施③「MA・SO・BO通信」発行等 【対象】幼児～一般 【人数】来館者数相当	【R7年度実績予測】
			①通年 ②4回 ③年6回
			【R8年度】
3	こどものまなび塾 【こぐま座】	【目的】児童文化に関わる外部講師を招へいし、子どもたちに関わる人材の育成を図る。将来的には修了者をあそびのサークル、地域や児童会館でのボランティア活動につなげていくことを目標とする。 【内容】あそびのプログラムによるボランティア養成講座を実施する。 【対象】18歳以上 【人数】15名	【R7年度実績予測】
			7月～10月 16回
			【R8年度】
4	ゆきあかりフェスティバル 【こぐま座】	【目的】雪まつり期間中に開催される事業として、中島公園や地域団体との連携強化と観光振興を目的に全市的なイベントの一環として実施する。 【内容】人形劇・パフォーマンステージ、ミニ雪像・スノーキャンドルづくり体験、体験ワークショップ等を実施する。 【対象】幼児～一般 【人数】1,200名	【R7年度実績予測】
			2月 2日間
			【R8年度】
			2月 2日間

(3) 子どもに関わる舞台活動の拡充に関する情報の収集・調査研究・立案及び提供に関する業務

ア 情報の収集・調査研究・立案の計画

No	事業名	目的・内容・対象・人数等	時期・回数
1	アンケート調査 【共通】	【目的】施設利用時の総合的な評価を知り、今後の施設運営に反映させる。また、「公演で見てみたい演目」「参加してみたい事業」「施設への要望」等のニーズ調査も兼ねる。 【内容】施設利用者(公演観覧者・劇団・主催事業参加者)に、劇場利用に関するアンケート調査を行う。 【対象】施設利用者 【人数】・公演観覧者1,200人以上・劇団20人(団体)以上・主催事業のうち、各種講座や舞台に関する体験プログラム等の参加者	【R7年度実績予測】
			通年
			【R8年度】
			通年

2	運営協議会 【共通】	【目的】 施設管理運営水準の維持向上を図る。 【内容】 両劇場の管理運営水準の維持向上を図るため、運営協議会を設置し、管理業務の状況報告や協議を行うとともに、様々な意見を伺う機会とする。 【対象】 運営協議会委員 【人数】 委員5名、施設所管課(札幌市)、劇場職員	【R7年度実績予測】
			10月・3月 2回
			【R8年度】
			10月・2月 2回
3	利用者説明会 【共通】	【目的】 各団体による利用手続きの円滑化を図る。同時に、各劇団からの近況報告や周知の場も設定し、劇団同士の交流の場とする。 【内容】 ホールをはじめとする貸室等の施設利用等の説明及び周知を行う。 ・劇場使用に関する説明 ・各劇団からの近況報告、事業周知 ・次年度のホール利用調整 【対象】 利用実績(概ね3年以内)がある劇団 【人数】 20団体程度	【R7年度実績予測】
			12月・3月 各劇場1回
			【R8年度】
			12月・3月 各劇場1回

イ 情報の提供

No	事業名	目的・内容・対象・人数等	時期・回数
1	「こどもの劇場通信」発行 【共通】	【目的】 やまびこ座・こぐま座両劇場の公演・事業等を紹介するリーフレットを定期的に発行し、広く市民にPRを行う。 【内容】 リーフレット発行(年6回、発行部数8,000部) 【対象】 公演観覧者、各劇場利用者、札幌市内公共施設及び児童会館、幼稚園・保育園・認定こども園、関係団体等	【R7年度実績予測】
			通年 年6回
			【R8年度】
			通年 年6回
2	やまびこ座 こぐま座 SNS通信 【共通】	【目的】 観劇者、事業参加者の増加をねらい、Instagram、LINE公式アカウントからプッシュ型の情報提供を行う。公演情報等を市民が受け取りやすくすることで劇場をより身近に感じてもらう、観劇や事業参加意欲につなげることを目指す。 【内容】 公演情報・講座案内の配信を行う。 【対象】 Instagramアカウント保持者、LINE公式アカウント登録者	【R7年度実績予測】
			通年 500件 年120回
			【R8年度】
			通年 500件 年120回

(4) 劇団育成支援に関する業務

No	事業名	目的・内容・対象・人数等	時期・回数
1	劇団育成支援事業 【共通】	【目的】 やまびこ座・こぐま座を利用する劇団の育成支援を行い、劇団活動の活性化に結びつける。 【内容】 ①貸室利用料金の一部負担②機材貸出(有料)等 【対象】 やまびこ座・こぐま座を利用する劇団	【R7年度実績予測】
			通年 ①650件②20件
			【R8年度】
			通年 ①700件②25件

(5) その他、札幌市こどもの劇場及び札幌市こども人形劇場の設置目的達成に資する業務

No	事業名	目的・内容・対象・人数等	時期・回数
1	やまびこ座・こぐま座「ヤッホーの会」 【共通】	【目的】市民参加型の会員募集により、集客増と文化芸術活動の活性化を図り、より市民に親しまれる劇場づくりを目指す。 【内容】ヤッホーの会会員募集、会員特典の付与(観覧割引優待等) 【対象】子ども～大人 【人数】60名程度	【R7年度実績予測】
			通年 23件
			【R8年度】
			通年 60件
2	こぐま座50周年 記念寄付事業 (こども基金さっぽろスマイルキッズ) 【共通】	【目的】こぐま座は全国初の公立人形劇場として1976年に誕生し、令和8年度50周年を迎える。記念寄附事業として活動に賛同してくださる全国の劇団関係者等に広く寄付を募り、記念事業の充実に役立てる。 【内容】個人1口5,000円、団体1口 30,000円(こども基金さっぽろスマイルキッズ) 【対象】劇団関係者及び企業	【R7年度実績予測】
			通年 個人8件・企業2件
			【R8年度】
			通年 個人60件・団体40件

様式1 令和8年度札幌市こどもの劇場収支計画書(総括表)

単位:千円

1 収益

項目	予算額	摘要
指定管理費	49,733	
利用料金収入	6,150	
こども劇場事業収益(指定管理業務)	31,745	企画事業収益、参加料・受講料収益、入場料収益ほか
物品販売収益(自主事業)	300	
飲料販売収入(自主事業)	50	
収益計(A)	87,978	/

2 費用

大項目	中項目	小項目	予算額	摘要
指定管理業務	管理費	人件費	0	
		物件費	2,059	財団本部経費
		小計	2,059	/
	事業費	人件費	29,145	給料手当、福利厚生費等
		物件費	57,598	諸謝金、委託費、支援事業費等
		小計	86,743	/
	指定管理業務計		88,802	/
自主事業	管理費	人件費	0	
		物件費	0	
		小計	0	
	事業費	人件費	0	
		物件費	68	
		小計	68	/
	自主事業計		68	/
受託事業	管理費	人件費	0	
		物件費	0	
		小計	0	
	事業費	人件費	0	
		物件費	0	
		小計	0	
	受託事業計		0	
費用計(B)			88,870	/

3 収支

項目	金額	備考
当期利益(A-B)	-892	
自主事業による利益還元(C)	0	
法人税等(法人税、住民税及び事業税)(D)	0	
当期純利益(A-B-C-D)	-892	

注)

1 施設において自主事業として実施する、札幌市その他の機関や団体からの受託事業の実施を予定している場合には、当該受託事業をその他の自主事業と区分して記載してください。(様式2以下についても同様です。)

2 収入の表は、様式2に基づき作成してください。なお、行が足りない場合は、適宜追加してください。

3 支出の表は、様式3に基づき作成してください。

4 収支の表の法人税等欄については、予想される税金の額を記載してください。

様式2 令和8年度札幌市こどもの劇場収支計画書(収益)

1.利用料金収入

単位:円

区分	単位	利用料金 (単価)	利用回数	予算額	備考
ホール	午前	14,400	30	432,000	
	午後	21,200	30	636,000	
	夜間	23,100	30	693,000	
	全日	56,300	45	2,533,500	
	計		135	4,294,500	
会議室	午前	1,200	15	18,000	
	午後	1,800	15	27,000	
	夜間	2,000	25	50,000	
	全日	4,800	15	72,000	
	計		70	167,000	
研修室	午前	2,500	25	62,500	
	午後	3,600	25	90,000	
	夜間	4,000	20	80,000	
	全日	9,600	25	240,000	
	計		95	472,500	
美術 工作室	午前	2,800	20	56,000	
	午後	4,100	20	82,000	
	夜間	4,400	20	88,000	
	全日	10,800	25	270,000	
	計		85	496,000	
公演時使 用料収入	人形劇		110	390,000	人形劇公演110回
	児童劇		30	330,000	児童劇公演30回
	計			720,000	
総計				6,150,000	

注) 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
2 税込で記載してください。

2.指定管理業務の事業収益、自主事業収益、受託事業収益

単位:千円

項目	事業名	予算額	摘要
指定管理 業務	企画事業収益	4,960	他団体・機関からの指導料等
	参加料・受講料収益	946	事業参加料及び講座受講料
	入場料収益	7,185	主催公演入場料
	雑収益	104	コピー、印刷代等
	受取補助金	145	さっぽろアートステージ
	受取助成金	18,405	文化庁等助成金
	指定管理業務事業収益計	31,745	
自主事業	物品販売収益	300	
	飲料販売収益	50	
	自主事業収益計	350	
受託事業			
	受託事業収益計	0	
事業収益計		32,095	

- 注) 1 項目毎に、事業単位で記載してください。
2 行が足りない場合は、適宜追加してください。
3 税込で記載してください。
4 自主事業において札幌市その他の機関や団体からの補助金の交付を受ける予定がある場合には、摘要欄に補助金の交付元名、補助事業名、補助率等を簡潔に記載してください。
5 受託事業欄は、様式1(注1)の事業について記載し、摘要欄には委託元名(予定)を記載してください。

様式3 令和8年度札幌市こどもの劇場収支計画書(費用)

単位:千円

項目	科目	指定管理業務		自主事業		受託事業	
		管理費	事業費	管理費	事業費	管理費	事業費
人件費	給料手当	0	24,777	0	0	0	0
	臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0
	福利厚生費	0	1,207	0	0	0	0
	法定福利費	0	3,161	0	0	0	0
	財団本部経費	0	0	0	0	0	0
	人件費計	0	29,145	0	0	0	0
物件費	旅費・交通費	0	5,229	0	0	0	0
	通信運搬費	0	368	0	0	0	0
	減価償却費	0	44	0	0	0	0
	消耗品費	0	919	0	31	0	0
	修繕費	0	300	0	0	0	0
	印刷製本費	0	50	0	0	0	0
	燃料費	0	236	0	0	0	0
	光熱水費	0	8,438	0	20	0	0
	賃借料	0	3,403	0	0	0	0
	入場料	0	60	0	0	0	0
	保険料	0	80	0	0	0	0
	諸謝金	0	19,247	0	0	0	0
	租税公課	0	4,076	0	0	0	0
	支払負担金	0	142	0	0	0	0
	委託費	0	7,634	0	0	0	0
	交際費	0	0	0	0	0	0
	役務費	0	2,294	0	0	0	0
	備品費	0	150	0	0	0	0
	広告宣伝費	0	1,553	0	0	0	0
	会議費	0	55	0	0	0	0
	支援事業費	0	3,300	0	0	0	0
	雑費	0	0	0	0	0	0
	支払手数料	0	20	0	0	0	0
	行政財産の目的外使用料	0	0	0	17	0	0
	財団本部経費	2,059	0	0	0	0	0
	物件費計	2,059	57,598	0	68	0	0
費用計		2,059	86,743	0	68	0	0

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 税込で記載してください。
- 3 管理費、事業費を区分する際の考え方は次のとおりとします。
 - ・管理費:施設における事業を管理するために経常的に要する費用。管理部門の費用など。
 - ・事業費:施設における事業の目的のために直接要する費用で管理費以外のもの。
- 4 受託事業欄は、様式1(注1)の事業について記載してください。
- 5 自主事業、受託事業において事業数が複数の場合、各事業の合計額を記載してください。

様式5 令和8年度札幌市こどもの劇場収支計画書(費用)の内訳(物件費)

単位:千円

1 指定管理業務

科目	予算額		摘要
	管理費	事業費	
旅費・交通費	0	5,229	外勤旅費、出張旅費、事業旅費
通信運搬費	0	368	NTT、リーフレット・劇場通信発送
減価償却費	0	44	
消耗品費	0	919	事務用品、管理用品、舞台消耗品、事業材料費
修繕費	0	300	施設、備品軽修繕
印刷製本費	0	50	劇場通信、事業チラシ・ポスター印刷
燃料費	0	236	
光熱水費	0	8,438	上下水道、電気、ガス代
賃借料	0	3,403	コピー機、タクシー、事業宿泊費、レンタカー借上等
入場料	0	60	公演観劇料
保険料	0	80	施設賠償保険等
諸謝金	0	19,247	事業講師謝礼
租税公課	0	4,076	消費税、収入印紙代
支払負担金	0	142	劇場連絡会会費等
委託費	0	7,634	施設管理委託業務
交際費	0	0	
役務費	0	2,294	じん芥処理、ソフトウェアライセンス料等
備品費	0	150	館内備品
広告宣伝費	0	1,553	
会議費	0	55	
支援事業費	0	3,300	劇団育成支援事業
雑費	0	0	
支払手数料	0	20	
財団本部経費	2,059	0	財団運営経費(管理費支出)、通信環境整備費用、財務システム等維持管理費用 等
計	2,059	57,598	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 税込で記載してください。
- 3 摘要欄には各科目の予算の積算内訳を記載してください。

単位:千円

2 自主事業

科目	予算額		摘要
	管理費	事業費	
旅費・交通費	0	0	
通信運搬費	0	0	
減価償却費	0	0	
消耗品費	0	31	物品販売消耗品
修繕費	0	0	
印刷製本費	0	0	
燃料費	0	0	
光熱水費	0	20	飲料販売加算料(電気代)
賃借料	0	0	
保険料	0	0	
諸謝金	0	0	
租税公課	0	0	
支払負担金	0	0	
委託費	0	0	
交際費	0	0	
役務費	0	0	
備品費	0	0	
広告宣伝費	0	0	
会議費	0	0	
支援事業費	0	0	
雑費	0	0	
支払手数料	0	0	
行政財産の目的外 使用料	0	17	飲料販売使用料
計	0	68	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 税込で記載してください。
- 3 摘要欄には各科目の予算の積算内訳を記載してください。